

ご存じですか！文化財

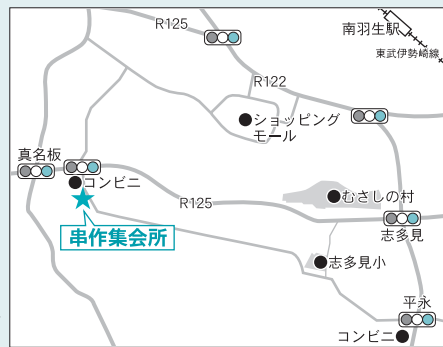
加須のわら細工

34

市指定無形民俗文化財
平成24年3月6日指定



問合せ
生涯学習課
(☎内線352)



活動場所 串作405-1 串作集会所

加須のわら細工は、江戸時代から始まったといわれています。鍋敷き・座布団・草履といった実用品のほか、正月飾りや宝船・亀・馬といった置き物をわらで編んでいきます。

加須のわら細工技術を伝承していくため、平成20年8月に加須わら細工保存会が設立されました。平成24年8月現在の会員は27人、月2回程度、主な活動場所である串作集会所に集まり、わら細工作りに取り組んでいます。

保存会では、原料を自前で確保するため、串作地内でわら細工の稲も栽培しています。栽培している稲は数種類ありますが、8月上旬に青田刈りといって、稲の穂

が出ない青いうちに刈り取るわらは、乾燥した後に青みを残すことができます。秋の実りを迎えた後に刈り取ったものと合わせて、わら細工の原料となります。

わら細工の技術を次世代に伝えるため保存会では、幼稚園や小学校の児童や市教職員などを対象とした講習会を開催したり、市民まつりや農業祭などのイベントに積極的に参加しPR活動を行っています。また、全国のわら細工愛好会を訪ねるなど、新しい作品作りにも取り組んでいます。



紹介者 松本 勝男さん(串作)